



暑さも和らぎ、秋の訪れを感じるこの頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？
気温差の大きい日もありますので、風邪など引かれませぬ様、ご留意下さい。

① 第48回 日本医学教育学会大会の参加報告 平成28年7月29日～30日

高槻市にある大阪医科大学で行われた第48回日本医学教育学会大会に参加してきました。主なテーマとしては、地域医療実習や多職種連携、大学の特色、今後のOSCEについてなどがありました。日々の診療の中でいかに学生・研修医と対話、指導する時間を確保するか、という教育現場の実情から、国際認証などの医学教育に関わる時代の流れの話まで、シンポジウムや口演、ポスターなどで数多くの発表・質疑が行われました。医学教育学講座の教員も演題発表を行い、座長を務めました。また、医学生が発表を行うセッションもあり、各自が工夫した検討と発表を行っていました。私たちも教員・学生それぞれが知恵と意見を出し合っ、より良い医学教育を目指していきたいと思いました。特別講演では聖路加国際大学 名誉理事長の日野原重明先生が「再びオスラーに学ぶ」のご演題でお話をされました。先生のご講演はお歳を全く感じさせないほど力強く、学生・医療人の育成のための熱意を感じることができました。

暑い大阪での熱い2日間、大変意義深い学会でした。来年は、8月に札幌市にて開催されます。先生方も機会がございましたら、是非一度参加されてはいかがでしょうか。



医学教育豆知識

【従来のプロセス基盤型教育とこれからのアウトカム基盤型教育の相違点】

今月のキーワード

「アウトカム基盤型教育」

アウトカム基盤型教育は従来のプロセス基盤型教育に比べ、より**実践的な知識の修得**を目指しています。

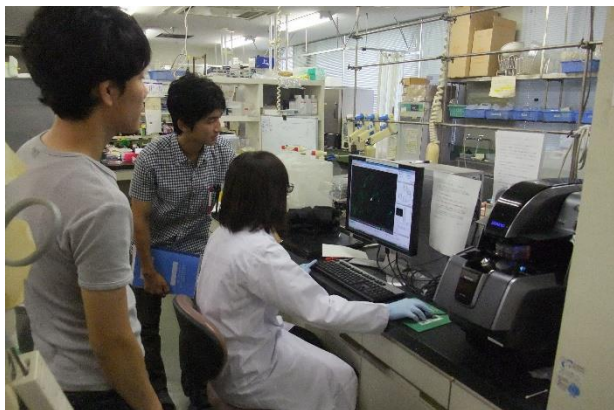
	プロセス基盤型教育	アウトカム基盤型教育
カリキュラムの重点	学習内容	学修成果(アウトカム)
カリキュラムの主役	教員	学生
教育の流れ	教員⇒学生(一方向)	教員⇄学生(双方向)
教育のゴール	知識の習得	知識の応用
典型的な評価法	単一の主観的評価	複数の客観的評価
評価時期	総括的	形成的



学習・・・系統的・計画的に学ぶこと
学修・・・学問を学び、身に付けること

② スーパーサイエンスハイスクールの受入について 平成28年9月12日

本学医学部の研究内容を深く知り、理解を深めることで、本学医学部への進学意欲と学習意欲を高めたいとの希望に応えるため、本学医学部では、文部科学省より先進的な理数教育を実施する高校である「スーパーサイエンスハイスクール」に指定されている山口県内の高校の受入を行っています。この度は、徳山高校から11名の高校生の受入を行いました。医学教育学講座のセミナー室で説明を行った後、高校生は、1, 2名ずつ各研究室に分かれ、学生、院生、教員と接し、研究内容を教わり、実験の指導を受けました。今回の体験を進路決定や学習意欲の向上の一助にして頂ければと思います。各研究室の先生方、お忙しい中、有難うございました。



③ 平成28～29年度 クリニカル・クラークシップ2の説明会の実施報告 平成28年10月4日

この度、クリニカル・クラークシップ2(診療参加型臨床実習)を担当して頂く山口大学医学部附属病院の各診療科、県内外の各病院の先生方にお集まり頂き、その実施説明会を開催しました。クリニカル・クラークシップ2(診療参加型臨床実習)とは、卒業後に、指導医の指導のもと、医師としての第一歩をスムーズに踏み出すことができるように設けられた6年間の医学部教育の最終段階における臨床実習のことですが、対象は、医学科5年生～6年生で、大学病院での全科ローテーション実習(ポリクリ)終了後に実施されます。学生は診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら、将来どの診療科の医師になるにしても最低限必要な医学知識・臨床推論法・技能・態度などの能力を実践的に身に付けることを目標とします。

各先生方、ご多忙の中、多数ご参加頂き、有難うございました。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp